

教育委員会 3 月定例会 会議録

1 開催日時 令和 4 年 2 月 21 日 (月) 午後 4 時から午後 4 時30分

2 場 所 教育委員会室

3 出席委員	教 育 長	丸 山 陽 一
	同職務代理者	近 藤 守
	委 員	倉 石 和 明
	委 員	塚 田 まゆり
	委 員	茅 野 理 恵

4 説明のために会議に出席した者

教 育 次 長	樋 口 圭 一
教 育 次 長	勝 野 学
参 事 兼 学校教育課長	上 石 秀 明
教育次長副任兼 総 務 課 長	藤 澤 勝 彦
家庭・地域学びの課長	小 池 秀 一
文化財課長	前 島 卓
埋蔵文化財センター 所 長 兼 大室古墳館長	大 井 久 幸
埋蔵文化財センター課長補佐	飯 島 哲 也
総務課長補佐	石 坂 陽 子

5 書 記	総 務 課 庶務担当係長	和 田 美 香
-------	-----------------	---------

丸山教育長が開会を宣した。

<教育長あいさつ>

中核市教育長会から、近藤委員の長年の貢献に対する感謝状と記念品を預かっており、この場をお借りして贈呈したい。

(近藤教育長職務代理者が挨拶をした。)

新型コロナウイルス感染症の拡大がなかなか収まらない中で、長野県でも、まん延防止等重点措置の適用を来月6日までの約2週間延長することとなった。それを受け、市内小中学校においても分散登校、分散教室の実施を延長しているが、収束に向かっていくと判断できるような明るい兆しが見えづらい中、来月には高校入試や卒業式が控えている。影響を最小限にとどめられるよう、我々としても、学校の感染予防対策を一層強化してまいりたい。児童生徒の感染状況について、定例会後の勉強会で報告させていただきたい。

このような中ではあるが、今月11日、建国記念の日に、長野市と上水内郡の中学校27校の生徒会役員が意見を交換し合う生徒会サミットが行われた。2年生を中心に生徒会役員が集まり、オンラインで開催したところである。今回は14回目の開催ということで、来年度の各学校の活動や今年度の3年生を送る会について意見交換を行った。どの学校の生徒会もコロナ禍でいろいろと制限がかかっている中、工夫を凝らして準備を進めている状況をお互いに紹介し合い、コロナに負けないという各校の生徒会の思いが伝わるサミットで、大変有意義な会だったと思う。

いずれにしても、年度末、年度初めには全国的に人流が増加するので、その前になんとか第6波の収束を願いたいと思っているところである。

<協議事項>

協議1号「長野市立公民館分館長・分館主事の任命について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

小池家庭・地域学びの課長が説明した。

委員 「任命せず」とあるのはなぜか。

小池家庭・地域学びの課長

地元では任命せず、主に市立公民館(本館)の方で事務を行っている。各分館において企画や管理をやっている。

委員 城山は以前からそうだった。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

<一般行政報告>

報告1号「松代城下町跡『恩田木工』銘木簡の出土について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

飯島埋蔵文化財センター課長補佐が説明した。

・恩田木工という名前の資料が見つかったのが初めてということで、本日付けでプレスリリースするもの。

委員 2号木簡の方は、恩田木工だけ「様」がついていないが、3人宛に書いている書

簡なのか。

飯島埋蔵文化財センター課長補佐

これはおそらく半分に折ったもので、もう少し名前が書かれていたものと思われる。おそらく恩田木工が発した文書で回覧のような形で使われたものではないかと推測される。

委員 裏には「祢津数馬」とあるが、どういうことか。

飯島埋蔵文化財センター課長補佐

どちらが先かは分からないが、表と裏は別のもの。木簡は再利用している。2度使ったり、かんなをかけて綺麗にしてから再利用したりする。

委員 恩田木工だけ「様」がないのは、本人が書いたものだからと考えられるのではないか。

飯島埋蔵文化財センター課長補佐

家中の者が恩田家から出た文章なので「様」を付けずに出したという可能性も十分にあり得ると思うが、もしかしたら本人が書いたという可能性もゼロではない。そういう意味で、想像がかき立てられる資料である。

委員 恩田木工の直筆の書は存在しないのか。

飯島埋蔵文化財センター課長補佐

今回、そこまでのことは調べていないので分からない。

委員 もしあれば、一致する癖などで本人が書いたかどうか分かるかもしれない。

前島文化財課長

宝物館にいる学芸員がその辺の専門だが、今日は埋蔵文化財センターの考古学専門の学芸員のため、（この質問に答えるのは）難しい。

飯島埋蔵文化財センター課長補佐

今後の研究の課題であり、筆跡鑑定も含めてこの資料がどういう役割で松代の中で使われていたのか検討していきたい。

丸山教育長

穴が開いているがなぜか。

飯島埋蔵文化財センター課長補佐

おそらく状態の蓋に竹の釘やピンのようなもので止めていた形跡だと思われる。

委員 厚さはどのくらいか。

飯島埋蔵文化財センター課長補佐

1号木簡は5ミリ、2号木簡は3ミリである。

委員 プレスリリースされたということは、貴重なものなのか。

飯島埋蔵文化財センター課長補佐

恩田木工というネームバリューにもよるが、松代では有名な人物であり、古文書でなく発掘調査で出てきたところがプレスリリースとなった理由である。

委員 もしかすると、この中に恩田木工が書面を入れて、祢津さんや鎌原さんに回した箱と想像できるいい資料だと思う。

前島文化財課長

当初は3月2日から（宝物館での発掘調査速報展の）開催の準備をしていたが、まん延防止等重点措置の延長もあり、3月16日から予定している。状況によっては先延びする可能性もある。

委員 木簡の穴はいつの時代のものか。

飯島埋蔵文化財センター課長補佐

穴の時期の特定は非常に難しい。

委員 （速報展チラシを見て）恩田木工やその価値について知らない人も多いのではないか。説明が少しでもあると良いかと思う。子どもたちにも分かるように注釈があると良いのではないか。

飯島埋蔵文化財センター課長補佐

確かに、裏には少し説明があるが、何をしたかの説明はない。デジタル図鑑などでは、案内を載せようと思う。

委員 大人だけでなく、子どもたちにも見てほしいから、常に子どもたちにも分かるようにしていくと、（今後に）つながっていくのではないかと思う。

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（藤澤教育次長副任兼総務課長）
後援事業 14件

次回以降の日程確認（藤澤教育次長兼総務課長）

4月定例会 4月6日（水）午後3時から 教育委員会室

5月定例会 5月9日（月）午後3時から 教育委員会室

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員